

別表6・7 科目名称変更提案表

課程	対象科	現 教科の科目名称	提案名称	変更内容	理由	
専門課程	建築科、住居環境科、建築物仕上科、インテリア科、建築設備科	仕様及び積算	建築積算	科目名称の変更	近年は、建築積算と呼んでいる。	
		生産工学	建築生産工学	科目名称の変更	生産工学にすると、生産現場全般の生産工学となり、教育する内容が建築生産工学と異なる。ここでは、建築分野における生産工学を学ばせたい。また、細目も建築分野の内容になっている。	
		関係法規	建築関係法規	科目名称の変更	関係法規にすると、広範囲過ぎる。ここでは、建築基準法とその周辺の法規に絞って学ばせたい。また、細目も建築分野の内容になっている。	
	建築設備科	施工図実習	設備施工図実習	科目名称の変更	施工図実習は、一般的に建築の施工図を含む。そのため、細目の内容に合わせて、設備施工図実習の方が適している。	
		関係法規	デザイン関係法規	科目名称の変更	関係法規にすると、広範囲過ぎる。ここでは、デザインに関連する法規に絞って学ばせたい。また、細目もデザイン分野の内容になっている。	
		施工力学	構造解析	科目名称の変更	細目の内容、及び別表6の構造力学の応用であることを考えると、構造解析の方が適している。	
	応用課程	建築施工システム技術科	建設環境	建築環境	科目名称の変更	一般的に建設は、建築と土木をいう。ここでは、建築だけを対象としているため、建築環境の方が適している。
			施工法実習	施工応用実習	科目名称の変更	専門課程で行った施工実習の応用なので、施工応用実習の方が適している。
			施工・施工管理実習	施工管理実習	科目名称の変更	上記、施工応用実習の内容と分けるため、ここでは施工管理に絞って行った方が良い。
			施工図書実習	施工図実習	科目名称の変更	施工図書は、一般的な用語ではないため。
施工管理実習			施工管理応用実習	科目名称の変更	上記施工管理実習の応用にあたるため。	
施工管理応用実習			基礎構造物実習	科目名称の変更	実施する内容が、基礎構造に関する内容だけになっていないため、教科名を明確にした。	
建築生産管理 経営管理 建築生産			建築生産管理	教科目の統合と時間の変更	科目内容が類似していて、重複している部分がある。そのため、教科目をまとめることにより、重複の内容を解消する。 時間を105Hから70Hとする。	
企画開発	企画開発	時間数の変更	建設現場のリーダーとなるには、企画開発はとても重要である。現在、35Hとなっているが、時間が足りないため、70Hとする。			

調査研究報告書 No. 160

「職業訓練基準の分野別見直しに係る基礎研究（専門・応用課程）—平成26年度 建築分野（デザインを含む）—」

発行 2015年3月

発行者 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校 基盤整備センター

所長 徳留 光明

〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1

電話 042-348-5075 （普及促進課）

印刷 株式会社旭クリエイト

〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-3-17 宮方ビル4F

電話 045-319-4980

本書の著作権は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が有しております。